

畜産経営安定対策

【33,395百万円】

対策のポイント

畜産経営の安定を図るため、飼料価格の高騰や枝肉価格の変動リスク等に対応します。

<背景／課題>

- ・とうもろこし等の穀物価格の高騰による飼料費の上昇や、豚枝肉価格の低下等の問題が生じています。
- ・こうした状況に対応し、畜産経営の安定を図るため、新マルキン事業及び養豚経営安定対策事業による補填金の交付を確実に行うとともに、牛乳乳製品の底堅い需要を確保していくための対策が必要となっています。

政策目標

「食料・農業・農村基本計画」において設定された、需要に応じた生産数量目標を達成

- 生乳の生産量（795万t（20年度）→800万t（32年度））
- 牛肉の生産量（52万t（20年度）→52万t（32年度））
- 豚肉の生産量（126万t（20年度）→126万t（32年度））

<主な内容>

1. 新マルキン事業への積み増し

16,206百万円

想定を超える配合飼料価格の高騰等に対応し、肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン事業）の補填金の交付を確実に行うために必要な資金の追加造成を行います。

補助率：定額
交付先：（独）農畜産業振興機構
事業実施主体：（独）農畜産業振興機構、都道府県域を範囲とする民間団体

2. 養豚経営安定対策事業への積み増し

15,689百万円

想定を超える豚枝肉価格の低落に対応し、養豚経営安定対策事業の補填金の交付を確実に行うために必要な資金の追加造成を行います。

補助率：定額
交付先及び事業実施主体：（独）農畜産業振興機構

3. 生乳需要基盤強化対策

1,500百万円

生乳生産基盤をしっかりと維持していくため、牛乳乳製品の底堅い需要の確保に向けて、生産者・乳業者が一体となって行う新商品・技術の開発、新市場の開拓などの取組を支援します。

補助率：定額
交付先：（独）農畜産業振興機構
事業実施主体：（独）農畜産業振興機構による公募

お問い合わせ先：

- 1、2の事業 生産局畜産企画課（03-3502-5979（直））
- 3の事業 生産局牛乳乳製品課（03-3502-5988（直））